



2006

VOL.33
NO.1 (通巻93号)

ART NEWS 千葉県立美術館報

ワークショップ昨今 ～美的可能性を求めて～

博物館・美術館で行われている子供を対象とした参加体験型の事業は、全国的な展開を見せている。当館におけるワークショップも同様であり、子供たちのエネルギーを美術活動に向けようとはじめて7年目になる。その内容も変化しつつ、毎年活発に行っている。絵の具や色シートを使った創作、立体物の制作、年齢の枠を越えた共同作業、美術品を実際に観る活動を通して、美的な感覚を養い美術館を積極的に活用してほしい、と年間数回から十数回実施してきた。今までの活動内容を顧みるとともに、今年から実施しているアンケートを基に、本事業の可能性について、現時点で考察し得ることを述べたい。なお、本稿でいうワークショップには、平成14～16年度まで『むじゃ・キック』と名付けて実施した「創作と鑑賞教室」を含むこととお断りしておく。

本年実施事業も含め既に実施したワークショップは、(別表1)のとおりである。同じ内容で日を変えて数回実施しているものもあるが、基本的には1テーマを年度内に1回の実施としている。多くの希望者があった場合は回数を増やし、全ての希望に沿うようにした。また、数回にわたって創作するものは、参加者に連帯感が生じ、共同制作の喜びを感じさせることができたと考えている。好評であったものは次年度も引き続き実施しており、美術館の外壁に張った大きな紙に絵を描く通称ウォールペイントは、平成13年度より7回目を数える。この事業は参加する人数や年齢に幅を持たせることが可能で、気軽に参加し制作できるという意識がもたれているようだ。筆者は昨年からの担当であるが、会場の参加者に感想を聞いたところ「毎年楽しみにしている」「楽しい」という声が返ってきたのが印象的であった。さらに、後述のアンケートでも、「楽しみにしている」「また参加したい」、など次に期待した発言がみられた。野外の活動であるため天候に左右され、今年度は雨天順延にもかかわらず311名参加という数字が示すとおりこのワークショップの手ごたえは十分で、次年度以降も計画からは外せない。問い合わせ回数も最多で、当館ワークショップの代表的事業とも言える。また、一人が同日に数種の

創作体験が可能な事業も平成15年度から継続し、今年度で4回目となった。幼児の参加者が多い中核的なものと位置づけている。以上の2本については、幼児のいる家庭から積極的な実施を望む声も多い。最近是比较的若い年齢層の母親から、ワークショップに関して電話での問い合わせが多く、乳幼児のうちからの造形的な活動に親の関心が高いように見受けられる。幼い子供の美に対する感覚や、子供自身の可能性を引き伸ばすきっかけを求める親の要求に応えるため、発達段階に沿った創作体験や、乳幼児に限った内容を実施することなどが検討課題である。また、比較的美術館に来ることの少ない層(中学・高校・大学生)や、若い世代についても、気軽に行ってみてみたいと思わせる魅力的な内容の実施も課題である。2007年を前に団塊世代を取り入れる活動も各所で計画され始めたが、人口割合の少ない年齢層にもスポットをあて、ワークショップに参加したり、展覧会のリピーターとなったり、活動サポーターという形で美術館とかかわる層が今後増えていくことを願う。今年度のワークショップでは、積極的にアート・コレクション(常設展示)を鑑賞する方策をとった。ワークショップ創作体験を楽しむに来館する参加者に、もう一歩足を踏み込んでもらい、館蔵資料を年間1～2ヶ月間隔で展示替えする「アート・コレクション」で本物に触れてほしいというねらいがある。ワークショップで気軽に美術館に近づき、作品を鑑賞する愉しさを実感してもらい、自らの意思で頻繁に来館してくれる回数が増えれば、この館の掲げる「みる・かたる・つくる」目的も、人々の心に満ちあふれたものとなるであろうと考える。

美術館の展示活動に沿った形でワークショップ開催を、今後も積極的に行っていきたい。新規事業の開発にも力を尽くして臨まなければならない。最後に(別表2)は今年度アンケートをとった回答の一部である。ここに紹介し、今後の指針にしたい。

(普及課 荒井喜代美)



(別表1)

年度	ワークショップ名 (「むじゃ・キック」名含む)	内 容	回 数	参加 人数
12	発光スチロールオブジェの制作	立体造形	1	29人
	絵の具で遊ば!色・色エキサイティング	絵画(平面構成)	4	24
	みんなでコーディネートはこーでない?	立体造形	4	24
	オブジェ・デ・かどまつ	立体造形	1	27
13	美術館のかべにウォールペイントしよう	絵画(平面構成)	1	91
	発光スチロールオブジェの制作	立体造形	1	32
	リターンオブ発光スチロールオブジェの制作	立体造形	1	31
	オブジェ・デ・かどまつ	立体造形	1	27
14	アトリ絵カードに願いを...	絵馬カードの作成	2	250
	新聞紙・デ・オートクチュール	新聞紙で衣装の創作	1	54
	ウォールペイント+ロールペイント	絵画(平面構成)	1	146
	千葉ポートパークがモニュメント アート広場に変身!	ダンボールビルダーカード	1	47
	アーティスト共演!スチロール・オブジェ	発泡スチロール立体	1	23
	花・花えらび...形あそび...	花をデザイン	1	36
	むじゃきにトーク!いろいろ話そう	帽子の制作	2	20
	形さがそう!形つくろう!	立体造形	2	44
15	あいしちゃった?ラ・ラ・ラン・ラン!	立体造形	2	62
	美術館の壁にウォールペイントPARTⅢ	絵画(平面構成)	1	317
	お祭り気分・デ・GO!GO!	立体造形、平面構成等	1	1200
	ういた?ういたの〜バルーンアート	立体造形	1	115
	モノレール千葉駅を秋色コーディネート	色彩構成	1	143
	色・色まわる風車?ポートパークに出現	色彩構成、立体造形	1	79
	フェイスペイントでモデルチェンジ	頭部装飾	1	56
	行くぞ〜われらの野外彫刻発見隊!	装身具制作	1	84
16	雨の日は、おしゃれ気分?	服飾作品創作	1	64
	ギンギンきらきらばんさい!	立体造形	1	35
	サポーターとむじゃキック・ワーク	音の中で身体表現・創作	1	39
	300人でウォールペイント!ど・どうなるの	絵画(平面構成)	1	325
	お祭りワ〜ク!作らにゃそんそん	立体造形等3種	1	260
	おもしろオブジェ!ZOO夢 in Art 動物天国!①バルーンZOO夢	立体造形	1	71
	②スチロールカービングZOO夢	立体造形	1	24
	③アニマルマンションZOO夢	立体造形	2	47
17	ポップコーディネートINモノレール千葉駅	色彩構成	1	91
	銚子伝統体験・銚子ちぢみ藍染体験!	染色	1	62
	皮のながれのよ〜に?	立体造形	1	40
	フロッタージュ・小さい秋・見つけた	こすり絵(平面構成)	1	18
	書ッキングな書・どう?	書道	1	32
	ウォールペイント・ロックペイント	絵画(平面構成)	1	184
	県民の日スペシャルワーク!いろ いろ作っちゃおう!	立体造形・色彩構成	1	113
	ゴンドラ型飛行船を作ろう!	立体造形	1	69
18	モノレールを楽しもう! 小さな美術めぐりの旅	鑑賞(作家訪問)・ 見学	1	25
	きらめき彩り・ガラス絵に挑戦!	平面構成	1	105
	芸術の秋・スタンピングコレクション!	判の創作	2	67
	墨と遊ぼう!墨っ子星人あらわる!?	書道	1	38

年度	ワークショップ名 (「むじゃ・キック」名含む)	内 容	回 数	参加 人数
18	ウォールペイントあーと	絵画(平面構成)	1	311
	県民の日・エンジョイあーと	立体造形、平面構成等種	1	157

(別表2)

ワークショップに対するアンケート中間報告

	第1回	第2回
アンケート回収率	18.30%	36.30%
来館回数 初めて	50.87%	31.57%
2回目	21.05%	15.78%
3〜5回目	11.29%	42.10%
6回以上	8.77%	10.52%

ワークショップ参加回数

	第1回	第2回
初めて	70.17%	63.15%
2回目	15.78%	26.31%
3〜5回目	12.28%	8.77%
6回以上	1.75%	1.75%

今回のワークショップは楽しかったですか?

	第1回	第2回
すごく楽しかった	77.19%	59.64%
楽しかった	22.80%	40.35%
楽しくなかった	0	0

参加費についてどう思いましたか?

	第1回	第2回
高かった	12.28%	12.28%
少し高かった	-(データなし)	1.75%
安かった	7.01%	1.75%
普通(適当)	80.70%	84.21%



平成18年度はカーペイントも実施

平成18年度アート・コレクション

今年8月から10月にかけて開催予定の当館収蔵作品による展覧会「アート・コレクション」の概要を紹介します。

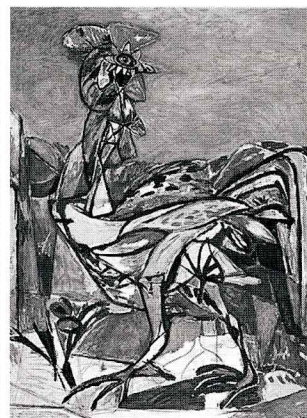
◇二口志保子 8/8～9/10

二口は、石川県に生まれました。広川松五郎に師事し染色を学びます。商工省主催工芸展、貿易工芸品輸出振興会展、文展、日展などで活躍し、二口志保子《水面》商工省主催工芸展三等賞、日展特選朝倉賞などを受賞し、織りから染めまでの工程を自ら行った壁掛けのほか、ハンドバッグや着物まで幅広い作品を制作しました。

写真は、昭和40年代に制作された壁掛けです。大胆に図案化された波紋の絵柄が目をはききます。この作品をはじめ、3点を展示します。



菅谷元三郎《母の像》



国松伽耶《おんどり》

昭和戦前期から千葉で活躍した画家たち3人の作品14点ほどを紹介します。菅谷と無縁寺は叔父・甥の関係。菅谷と国松は旧制千葉中学校で美術教師堀江正章に教えを受けた者同士。無縁寺と国松は川端画学校の先輩・後輩という因縁浅からぬ間柄です。

◇青木滋芳 9/12～10/9

青木も、旧制千葉中学校で堀江の指導を受けた一人です。東京美術学校図案科に進み、和田三造に図案、広川松五郎に染色を学びました。日本各地で取材した風景をモチーフに、壁掛け、屏風、衝立などの蠟染作品を多く手がけました。今回は青木の作品から4点を選び紹介します。

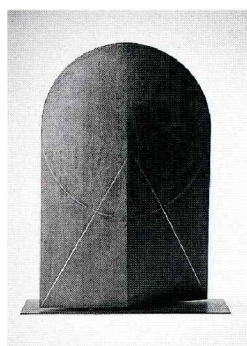


青木滋芳《黒潮》

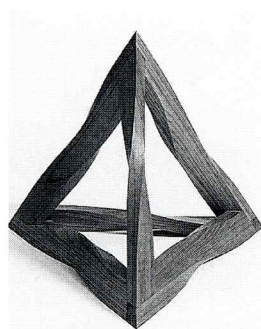


津田信夫《煙草入》

◇彫刻 8/19～10/9



米林雄一
《Circle and Triangle》



池田丈一
《ひねくれた正四面体》

抽象彫刻約10点を選び紹介します。主な展示作品は、米林雄一《Circle and Triangle》、池田丈一《ひねくれた正四面体》、伴正史《人「無言」》などです。

◇国松伽耶・菅谷元三郎・無縁寺心澄 8/29～10/9



無縁寺心澄《旧県庁と噴水》

◇金工の世界 9/2～10/9

この展覧会では、当館収蔵作品の中から、長い金工制作の歴史上、大きな展開を示した昭和期に制作された作品約30点を紹介します。

主な作品は、香取秀真の鍍金《菊文釜》、津田信夫の鍍金《煙草入》、信田洋の彫金《透壺》、鈴木治平の鍛金《湿原の歌》、大須賀喬の彫金《昆虫文飾皿》などです。

美術館からのお知らせ

【キッズ・サマーコンサート】



アートコレクション展「こどものための展覧会」の関連事業として平成18年7月29日(土)千葉県立千葉女子高等学校オーケストラ部による「キッズ・サマーコンサート」を第8展示室で実施しました。動物をモチーフにした展覧会に合わせG. ビゼー作曲「カルメン」より闘牛士、チャイコフスキー作曲「白鳥の湖」よりワルツなど、こどものための楽しいコンサートを行い、参加者は1部・2部合わせ456名でした。

【マンドリンコンサート】

平成18年度アート・コレクション展関連事業「マンドリンコンサート」を6月3日(土)午後2時～3時20分まで、第7展示室を会場に実施しました。演奏者はエルシエナ・マンドリンアンサンブルで参加者は296名でした。

【第3回ワークショップ「モノレール・はりっ子あーと」】

8月26日(土)の午後1時から千葉都市モノレール千葉駅構内の通路で、子ども達が様々な色のカッティングシートを切り、それを壁の大きな紙にはって、思い思いの模様や絵を作る「モノレール・はりっ子あーと」が行われました。大人から幼児まで111人が集まり、楽しく夏の午後をすごしました。作品は9月13日(水)まで駅構内通路に展示します。

【ワークショップのお知らせ】

第4回「そめっ子あーと」

内容 チャレンジ! 作って楽しい布染めアート!

日程 9月16日(土) 13:00～15:00 (受付12:30～)

定員 25名 対象 小・中学生

会場 千葉県立美術館第7展示室

費用 1,000円 申込締切日 9月7日(木)

※参加ご希望の方は、往復ハガキに、ワークショップ名、住所、電話番号、氏名(複数名の申込可)、学校名、学年を明記して、美術館普及課迄お申し込みください。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

実技講座のご案内

ホリデーアート「木版画講座」

内容 版画を通して、版画の持つ魅力を味わい、年賀状として作品を完成させる講座

日程 11月25・26日(土・日)

講師 上田靖之先生 定員 27名

会場 千葉県立美術館第2アトリエ

費用 5,000円

申込締切日 11月1日(水)

※参加ご希望の方は、往復葉書に、講座名、住所、電話番号、氏名を明記して、美術館普及課迄お申し込みください。応募者多数の場合は、抽選とさせていただきます。

「美術めぐりの旅」のご案内

美術館を飛び出して、鑑賞の旅に出掛けませんか。今年は秋の一日を、市川市中山界隈の美的な空間にご案内します。芸術家の空気漂う街、近代の文化人に愛され、何人もの芸術家が住む街「市川」中山の地。昨年秋開館した東山魁夷記念館をはじめ、前出の中山法華経寺、昭和初期の日本家屋・旧片桐邸等を徒歩で散策します。歩きやすい服装でご参加ください。参加ご希望の方は、当館普及課「めぐり旅係」あてに住所・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、往復葉書でお申し込みください。締め切りは10月1日(日)必着。応募者多数の場合は抽選とさせていただきますので、ご了承ください。

〈期日〉平成18年10月14日(土)10時JR下総中山駅集合

〈定員〉35名

〈参加費〉4,000円程度(入館料、昼食代含。JR下総中山駅までの交通費は各自負担)

利用案内

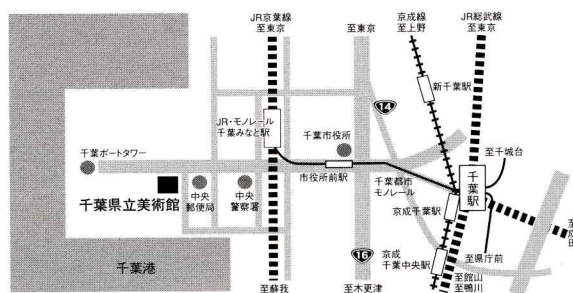
開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 常設展 一般 300円 高校・大学生 150円

企画展 一般 500円 高校・大学生 250円

小中学生・65歳以上・障害者手帳保持者の方(介護者含む)は無料です。「年間パスポート(1,500円)」もごございます。

交通



JR京葉線・千葉都市モノレール 「千葉みなと駅」下車徒歩8分
JR総武線 「千葉駅」下車東口12番バスのりばから「千葉ポートタワー」行「県立美術館・中央郵便局」下車徒歩1分
〈東京方面から〉東関東自動車道「湾岸習志野」I.Cから約20分
〈成田方面から〉東関東自動車道「千葉北」I.Cから約25分

〒260-0024 千葉市中央区中央港1-10-1

電話 043-242-8311

<http://www.chiba-muse.or.jp/ART/>

千葉県立美術館館報「みる かたる つくる」VOL33-1(通巻93号)
2006年9月1日発行